

日ごろの成果を発表 第29回公民館まつり

3月26日から28日の3日間、第29回公民館まつりを中央公民館で開催しました。このまつりでは、公民館で生涯学習に取り組む方たちが、歌や踊り、書道や絵画など1年間の成果を発表・展示しました。

27日には、健康社会学者としてテレビなどで活躍する河合薫さんの講演会や、体力測定、ニュースポーツ体験会、親子映画鑑賞会などを開催。28日には、エアロビクスやフラダンス、日本舞踊など、25の団体が日ごろの練習の成果をステージで披露し、発表した方も訪れた方もそれぞれにまつりを楽しんでいました。



▲キッズ・ジュニアエアロビックスサークルの発表

東北6県の強豪校が白石に集結 宮城県知事杯第7回中学生軟式野球春季白石大会



▲対酒田市立第四中との5回表、ヒットを放つ白石中の選手

4月3日・4日の両日、本市と蔵王町の球場を会場に宮城県知事杯第7回中学生軟式野球春季白石大会が開催されました。本大会には、東北6県から16チームが参加。本市からは白石中と東中、福岡中が参加し、各県の強豪校と熱戦を繰り広げました。酒田市立第四中(山形県)と対戦した白石中は、中盤まで接戦するも終盤でミスが重なり、惜しくも敗れてしまいました。

2日間の熱戦の末、仙台育英学園秀光中等教育学校が見事2連覇を達成。また、パンフレットの収益金は福島県の支援学校に寄付されました。

優勝目指して熱戦! また熱戦! 第8回全国デフバスケットボール選手権大会

3月20日・21日の両日、ホワイトキューブで聴覚障害者が出場する、全国デフバスケットボール選手権大会が開催されました。

今年で8回目となるこの大会には、全国から男子9チーム、女子6チームの計15チーム、約150人が出場。優勝を目指して熱戦が繰り広げられ、本県からは男女各1チームが参加しました。

20日は予選が行われ、手話でコミュニケーションを取り合い、次々とパスをつなぎながらディフェンスをかわし、ゴールを目指してシュートを放っていました。



▲ディフェンスをかわしてシュートする東京チーム

おじいちゃん・おばあちゃん交通事故に気を付けて 第24回「交通安全さくらメール作戦」出発式



▲晴天の下、子どもたちの思いを乗せて出発しました

春の交通安全県民総ぐるみ運動が始まった4月6日、日本郵便白石支店駐車場で「交通安全さくらメール作戦」の出発式が開催されました。この作戦では、白一小と白二小の全校児童が、祖父母などに交通安全を呼び掛けるはがき1,018通を作成。心のこもったメッセージを送ることで、お年寄りや児童の交通安全の意識を高めることがねらいです。出発式では白石警察署の佐藤正孝署長が「この作戦を通して、交通安全の輪が浸透することを願います」とあいさつ。交通安全協会の皆さんが見守る中、子どもたちの思いを乗せたバイクが出発していきました。

皆さんもサッカーやりませんか? 「エンジョイサッカー」で Let's enjoy!

白石サッカー協会(大宮信明会長)では、白石川サッカー公園を利用しておむね月に1、2回、「エンジョイサッカー」を開催しています。「以前サッカーをやっていた、またやりたくなった」方などのために、サッカーの場を提供しています。誰でも気軽に参加できるとあって、取材した3月14日も、20代から60代まで約30人のサッカー好きが集い、楽しく真剣にプレーしていました。

5月以降は、5月16日(日)、6月6日(日)・19日(土)の9時30分から開催予定です。詳しくは、大宮会長(☎25-1073)までお問い合わせください。



▲真剣にプレーしてこそエンジョイ!

みんなで門出を祝いました 白石市手をつなぐ育成会「卒業を祝う会」

3月14日、障害を持つ本人とその保護者でつくる「白石市手をつなぐ育成会」がこの春に小・中・高校を卒業する皆さんの門出を祝う「卒業を祝う会」を、ふれあいプラザで開催しました。

会にはこの春に卒業する13人のうち、4人の卒業生が出席しました。「これからも手をつなぎ合って頑張りたいです」と来賓の皆さんから祝辞があり、卒業生は「仕事を一生懸命頑張ります」と、お祝いに駆け付けた後輩や家族など約50人の前で、一人一人が今後の抱負を力強く話しました。



▲卒業を祝い、みんなで記念撮影!

みんなで新しいことに挑戦 越河小学校で出前パソコン教室



▲パソコンの操作を学ぶ受講者の皆さん

3月25日、越河地域振興会(二瓶晃一会長)が主催した初心者向けの「出前パソコン教室」が、越河小学校で開催されました。春休み期間の小学校を利用して開催された今回の教室には、15人が参加。ほとんどの方がパソコンの操作が初めての中、基本操作やメールの使い方などを学びました。講師は、同振興会の文化・教育・環境専門部会長である松野久郎さんが務め、越河小学校の先生たちもお手伝いに入り、和気あいあいと行われました。受講者からは「思ったより難しかったが、次回も参加してスキルアップしたい」といった声が聞かれました。

これを次のステップアップに 吉見教育基金顕彰事業顕彰授与式



▲新体操で功績を収めた遠藤那央くん(白一小)

スポーツや芸術活動などで功績を収めた小中学生をたたえる「吉見教育基金顕彰事業顕彰授与式」が3月26日、市役所で行われました。この基金は「子どもたちの教育に役立ててほしい」と、吉見学園の理事長を務めていた吉見たけさんの寄付を基に設立されました。

今回表彰されたのは、新体操や空手、水泳、絵画、書道などで活躍した17名と2団体の皆さん。風間市長が「これを契機にもうひとつステップアップしてください」とあいさつ。白石中の戸羽洋良子さんが「これからは一生懸命頑張ります」と、お礼と今後の抱負を述べました。